

## 高速乾燥発酵処理機のご提案

我が国の畜産業は、食生活の高度化、多様化等に伴う需要の増大を背景とし、順調な発展を遂げ、農業の基幹的部門に成長しており、国民生活に欠かせない安全で良質な畜産物の安定供給をはじめ、地域社会の活力維持、国土や自然環境の保全等、その役割はますます重要なものとなっています。その一方で、畜産を巡る情勢はウルグアイ・ラウンド農業合意を踏まえた新たな基本法の制定(食料・農業・農村基本法 平成11年7月16日公布施行)により大きく変化しています。

家畜排泄物は農産物や飼料作物の生産に、畜産業における資源として有効に利用されてきました。近年、畜産経営の急激な大規模化の進行により、家畜排泄物は増加傾向にあり、反面では高齢化に伴う農作業の省力化のため化学肥料や農業が用いられる事が多くなり、堆肥の需給のアンバランスが生じるようになってきました。最近では、それに伴い家畜排泄物の野積み・素掘りからの硝酸性窒素による地下水汚染やクリプトスポジウム(原虫)による水道水源の汚染が新たな問題となって浮き彫りになっています。

こうした中で、地域社会で畜産を安定的に営んでいくには、資源循環型社会への移行や環境問題に対する個人や企業の意識の高まりに対応し、家畜排泄物について適正な管理と有効利用が極めて重要な課題となっています。

既にご承知の通り、家畜排泄物は窒素等の肥料成分や有機物を多く含む貴重な資源です。家畜排泄物を利用した堆肥の農地への還元は、農業生産性の向上の観点から地力の維持増進のため有効な有機物資材となります。また、最近における消費者の有機農産物へのニーズの高まりを背景に、化学肥料や農薬の使用料を削減し、堆肥を中心とした土作りの推進に対する関心が高まっており、家畜排泄物を貴重な有機質資源として一層有効に利用していく必要があります。

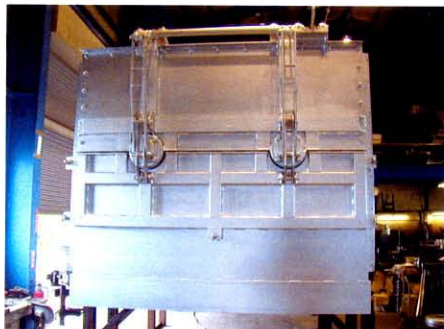
しかしながら、家畜糞尿の処理にあたっては、多様な施設や膨大な設備面積や設置費用の確保、悪臭の問題、水系の汚濁等様々な問題が生じています。

そこで、家畜排泄物に関わる諸問題や有効利用のために、弊社の「高速乾燥発酵処理装置」を利用したリサイクルシステムを活用してはいかがでしょうか。

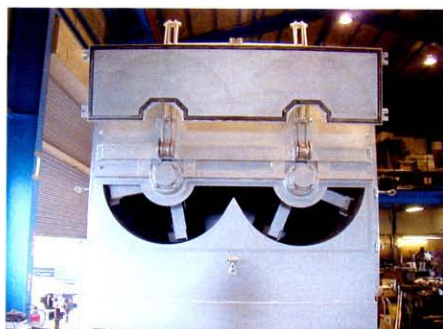
この「高速乾燥発酵処理装置」は省スペースで短時間に一次分解を行い、さらに堆肥化促進液の効果により悪臭を発生させない、従来では考えられない無公害・高効率の原料処理方式を開発しました。現在、家畜糞尿や食品汚泥を肥料化し、化学肥料で弱った土壌の改良剤として利用され実績を上げて来ています。



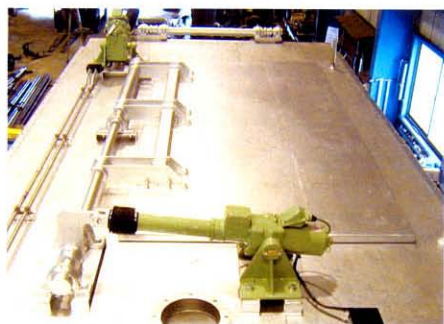
## 主要機器－2



排出口ハッチ閉口状態(機械後部)



排出口ハッチ開口状態(機械後部)



投入口ハッチ閉口状態(機械上部)

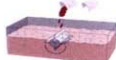


投入口ハッチ開口状態(機械上部)

## 従来型との違い

### 畜産糞尿・生ゴミ処理の従来の方法

- 1 集積  
各事業所や畜産農家、家庭から集積
- 2 一次発酵  
畜産糞尿・生ゴミを一次発酵槽に投入と同時にみみがらなどを加え15日間発酵させる。その間、週に3～4日バドルで槽内で攪拌(曝気)する。
- 3 二次発酵  
二次発酵槽に移し、約25日間発酵させる。
- 4 三次発酵  
堆肥貯留場で10～14日間発酵させて堆肥の完成



完成までに最低2ヶ月を要していました。

### アスナシステム乾燥発酵処理の方法

- 1 原材料受け入れ
- 2 機器内に投入
- 3 高速乾燥・発酵処理
- 4 排出・出荷



高速乾燥にて短時間処理、最短4時間で肥料化

## 家畜糞尿肥料使用例

当社の高速乾燥発酵処理機にて製造した家畜肥料を使って、バラ・パンジーなどを栽培した実行例です。



処理前の家畜糞尿です。鶏の羽や玉子の殻が多く混ざっています。



高速乾燥発酵処理機にて約4時間処理をし、肥料化します。



枯れかかったバラの根元にそのまま散布しました。(H15/2/10)

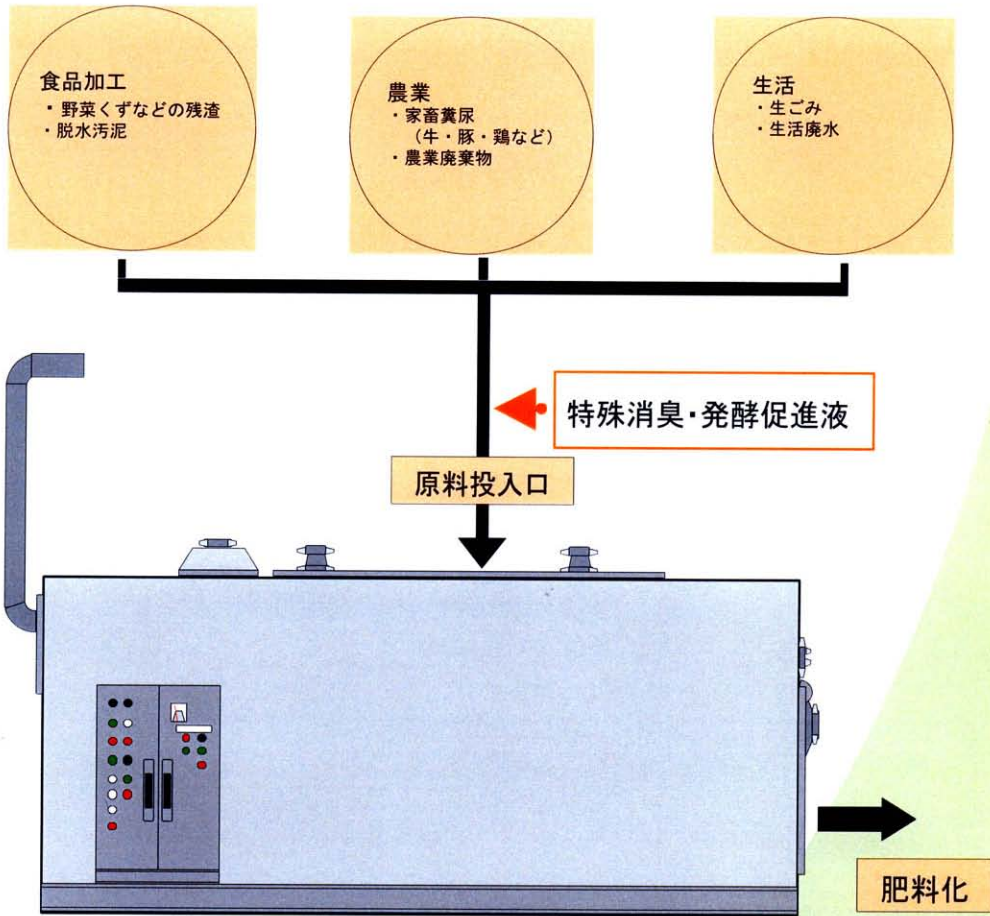


1ヶ月後には青々とした元気な葉が増えました。花の時期が楽しみです。(H15/3/8)



土など何も使用せず、家畜肥料100%で栽培しているパンジーなども元気に育っています。

# 高速乾燥発酵処理機とは



## ◎特徴

- 1、処理時間が非常に短い  
(従来、数ヶ月もかかっていた肥料製造を約一日で処理可能)
- 2、装置がシンプル  
(機器操作、メンテナンスも簡単。スペースをとらずランニングコストも安価)
- 3、臭気問題も解決  
(消臭、発酵促進液により臭気を分解。大掛かりな脱臭装置は不要)